



週刊

こんにちは日本共産党です 八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047(752)0453 植田 進 ☎047(487)9754
伊原 忠 ☎047(488)7207

市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>
共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp



第296号

2016年12月5日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

後退する国・地方自治体の高齢者福祉

ひとり暮らしの高齢者が年々増えています。ところが国・自治体の高齢者福祉は後退しています。

八千代市では、調理困難な65歳以上の方に1日1食の配食サービスがあります。食事の提供と安否確認が目的です。1食当たり100円の助成があります。一昨年度までは300円の助成でしたが、財政困難を理由に昨年度から200円削減されました。

また、急病や事故など緊急時に簡単な操作で電話回線を通じて外部に通報できる緊急通報システムの利用には、65歳以上で要支援・要介護認定者の方、75歳以上のひとり暮らしの方などの条件があります。誰もが安心して利用できる高齢者福祉対策が求められています。

はいかい高齢者家族支援サービスの無料化を

八千代市にはGPSの端末を身につけて、はいかいなどで行方不明になった高齢者を端末によって探索する「はいかい高齢者家族支援サービス」があります。対象となる方は、はいかいする恐れのある65歳以上の方を自宅で介護している家族です。利用料は月額500円です。

月額500円という利用料も長期間になると負担が重くなります。常時ではなくたまにははいかいする方の家族は、料金もったいないと利用をやめてしまったために事故にあった事例が起きています。こうしたシステムは多くの自治体が無料で行っています。八千代市でも市民の安心、安全を守るという立場から無料で実施することを要望します。



救急医療情報キットの導入を

救急医療情報キットは筒状の容器に、かかりつけ医や服薬内容、緊急連絡先などの情報を記入して冷蔵庫に保管しておきます。玄関ドアの室内側にシールを貼り、救急隊に救急医療情報キットがあることを知らせるシステムです。無料で高齢者にキットを配布している自治体がほとんどです。

八千代市は緊急通報システムや災害時の要援護者情報と重複するということで実施していません。しかし、緊急通報システムに申し込めない年齢の方、健康に不安のある方などには必要なシステムであり、八千代市でも実施が求められます。

日本共産党市議団は、こうした高齢者福祉の改善を、来年度予算に盛り込むよう市に求めています。